



## ショウジョウトンボ (*Crocothemis servilia*)

トンボ科

全身真っ赤なトンボです。普通のアカトンボより一回り大きいです。北海道南部から屋久島にまで分布します。香寺町でも多くのため池に生息しています。水面の近くを飛び回ったり、植物の葉やコンクリートの階段などに止まっている姿を見ることが出来ます。

写真は、相坂地区のトツノ池で撮影しました。



## マツモムシ (*Notonecta triguttata*)

マツモムシ科

池や沼などの水中に見られ、普段は背泳ぎをしています。体長は1cm程度で灰黄色で黒色の斑点があります。飛ぶときはひっくり返ってから飛びます。水中では呼吸のために空気の層をまとっているため銀色に見えます。素手で捕まえた場合、刺されるとハチに刺されたように痛いので注意が必要です。

写真は、行重地区の奥羽部池で撮影しました。



## ガムシ (*Hdrophilius acuminatus*)

ガムシ科

成虫は体長4cmくらいの大きい水生昆虫です。成虫は、アオミドロのような藻類やクロモのような水生植物を食べます。夜は灯りに飛んできてくることもあります。幼虫は水中の小さな虫などを食べます。北海道から沖縄にまで分布します。香寺町でも多くのため池にいますが、数は減っているようです。

写真は、土師地区の別所池で撮影しました。



## ガガブタ (*Nymphoides indica*)

ミツガシワ科

本州から九州の湖や沼、ため池に生育しています。香寺町土師地区の別所池・中の池・奥池・皿池で生育していることを確認しました。7月から9月にかけて、朝から昼過ぎまで白い花を開きます。全国的に非常に少なくなっている植物で、絶滅危惧種に指定されています。

写真は、土師地区の中の池で撮影しました。



## ヨメナ (*Kalimons yomena*)

キク科

野生の植物でキクやヨメナ、シオンなどキクに似た花をつける植物が広く野菊と呼ばれます。ため池の堤防にはヨメナやノコンギクなどの野菊が見られますが、他に野菊が生育できる場所は少なくなっています。「気高く清くにおう花、きれいな野菊薄紫よ」と童謡に歌われて親しまれてきた植物です。

写真は、相坂地区の下丁郷池で撮影しました。